

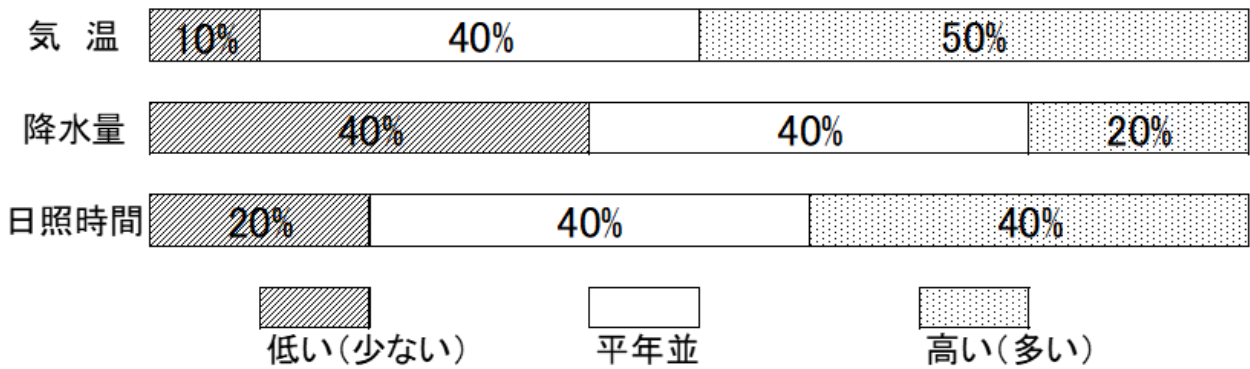
令和8年度 病害虫発生予察情報
発生予報第7号（9月）

令和8年8月31日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病害虫名	予想発生量
普通作物	イネ	穂いもち	平年並～やや多い
		紋枯病	平年並～やや多い
		白葉枯病	平年並
		もみ枯細菌病	平年並
		ツマグロヨコバイ	平年並
		トビイロウンカ	平年並～やや多い
		斑点米カメムシ類	平年並～やや多い
		ハスモンヨトウ	平年並
		黒斑病	平年並
		シンクイムシ類	平年並
果樹	ダイズ ナシ	ハダニ類	やや多い
		カメムシ類	平年並～やや多い
		うどんこ病	少ない
		カキミガ	平年並
		カメムシ類	平年並～やや多い
		アブラムシ類	平年並
		コナガ	やや少ない～平年並
		アオムシ	やや多い
		ハスモンヨトウ	平年並
野菜	アブラナ科野菜	カメムシ類	平年並～やや多い
		アブラムシ類	平年並
		コナガ	やや少ない～平年並
		アオムシ	やや多い
		ハスモンヨトウ	平年並

中国地方1か月予報(8月29日～9月28日・広島地方气象台8月27日発表)
＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)＞



A. 普通作物

1) イネ

(1) 穂いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

①「きぬむすめ」などで葉いもちの発生量はやや多い。

②向こう1か月の気象は、本病の発生にやや抑制的である。

(2) 紋枯病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 県内の一部で発生程度の高いほ場もみられるが、全般の発生量は平年並みである。

② 向こう1か月の気象は、本病の発生にやや助長的である。

(3) 白葉枯病

予報内容

発生地方

県内常習発生地帯

発生量

平年並

予報の根拠

① 本病の発生は認めていない。

② 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(4) もみ枯細菌病

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 全般の発生量は平年並みである。

② 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(5) ツマグロヨコバイ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

① 8月下旬に実施した巡回調査の結果、発生ほ場率は14.3%（平年36.6%）、捕獲数は5.0頭/50株（平年7.8頭/50株）と、本種の発生量は平年並みである。

② 8月第5半旬までの予察灯（出雲市）での誘殺数は36頭（平年171.5頭）と、誘殺数はやや少ない。

③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(6) トビイロウンカ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 8月下旬に行った巡回調査の結果、本種の発生ほ場率は14.3%（平年23.8%）、捕獲数は1.7頭/50株（平年14.2頭/50株）と、本種の発生量は平年並みである。

② 8月第5半旬までに、出雲市にある予察灯（平年1.8頭）、粘着誘殺灯（平年3.6頭）において本種の誘殺を認めていない。

③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(7) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

① 8月下旬に実施したほ場でのすくい取り調査の結果、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は61.9%（平年41.1%）、平均捕獲虫数は4.0頭/20回振り（平年7.5頭/20回振り）と、斑点米カメムシ類の発生量は平年並みである。主要種はイネカメムシであり、幼虫の発生も認められる。

② 8月第5半旬までの予察灯（出雲市）における斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメおよびアカヒゲホソミドリカスミカメ）の合計誘殺数は329頭（平年253.6頭）と、平年に比べてやや多い。

- ③ イネカメムシ（成虫）の発生ほ場率は 21.4%、平均捕獲虫数は 1.1 頭/20 回振りであった。また、幼虫の発生も認められており、発生ほ場率は 14.3%、平均捕獲虫数は 1.2 頭/20 回振りであった。
- ④ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。
- 注）令和 8 年度 病虫害発生予察情報 注意報 第 3 号参照

2) ダイズ

(1) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 8 月下旬の巡回調査では、本種幼虫による白変か所数は 0.25 か所/a(平年 0.60 か所/a)、発生ほ場率は 25.0%(平年 34.7%)と発生量は平年並みである。
- ② 7、8 月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では 234 頭（平年 508.7 頭）とやや少なかった。
- ③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方

県内「二十世紀」栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 8 月下旬の巡回調査では、発病葉率 11.9%（平年 13.4%）と、発生量は平年並みである。
- ② 向こう 1 か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) シンクイムシ類

予報内容

発生地方

県内ナシ栽培地帯

発生時期

平年並

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 予察ほ場（出雲市）のフェロモントラップでのナシヒメシンクイ雄成虫の誘殺盛期、誘殺数ともに平年並みである。
- ② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) ハダニ類

予報内容

発生地方

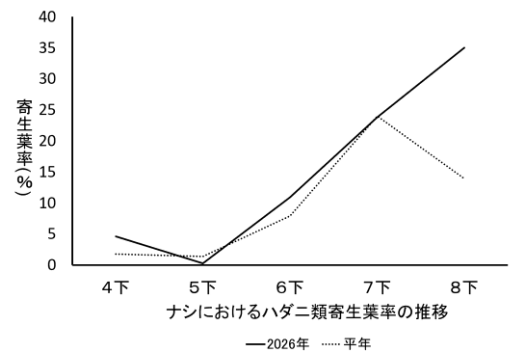
県内ナシ栽培地帯

発生量

やや多い

予報の根拠

- ① 8 月下旬の巡回調査では、寄生葉率 35.0%（平年 13.9%）、寄生虫数 156.8 頭/50 葉（平年 41.3 頭）と平年に比べてやや多い（右図参照）。
- ② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。



(4) カメムシ類

予報内容

発生地方

県内ナシ栽培地帯

発生量

平年並～やや多い

予報の根拠

- ① 予察ほ場（出雲市）の 8 月第 1 半旬から第 6 半旬までの予察灯でのカメムシ類の誘殺数は 1,711 頭（平年 1,986.6 頭）と、平年並みである。
- ② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。
- 注）令和 8 年度 病虫害発生予察情報 注意報 第 2 号 参照

2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 少ない

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発病葉率 0.2% (平年 6.4%) であり、発生量は平年に比べて少ない。

② 向こう 1 か月の気象は、本病の発生に抑制的である。

(2) カキミガ (第 2 世代)

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

① 第 1 世代幼虫による芽および果実の被害は平年並みである。

② 8月下旬の巡回調査では、一部多発ほ場がみられるものの、発生量は平年並みである。

③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) カメムシ類

予報内容

発生地方 県内カキ栽培地帯

発生量 平年並～やや多い

予報の根拠

① 予察ほ場 (出雲市) の 8 月第 1 半旬から第 6 半旬までの予察灯でのカメムシ類の誘殺数は 1,711 頭 (平年 1,986.6 頭) と、平年並みである。

② 8月下旬の巡回調査では被害果率は 1.4% (平年 2.5%) と平年並みである。

③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。

C. 野菜

1) アブラナ科野菜

(1) アブラムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 28.6% (平年 37.9%)、寄生株率は 2.9% (平年 7.2%) と平年並みである。

② 現在までの有翅虫の黄色水盤への 7、8 月の累積誘殺数は少ない。

③ 向こう 1 か月の気象は、本種の発生にやや助長的である。

(2) コナガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや少ない～平年並

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 0.0% (平年 38.4%)、寄生株率は 0.0% (平年 7.2%) であり、発生量は平年に比べてやや少ない。

② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生に助長的である。

(3) アオムシ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 やや多い

予報の根拠

① 8月下旬の巡回調査では、発生ほ場率は 28.6% (平年 16.5%)、寄生株率は 5.7% (平年 2.0%) と平年に比べてやや多い。

② 向こう 1 か月の気象は、本種の発生を抑制する要因とはならない。

(4) ハスモンヨトウ

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

- ① 8月下旬の巡回調査では、発生は場率は0%（平年20.0%）、寄生株率は0%（平年2.8%）であり、発生量は平年並みである。
- ② 7、8月のフェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫の累積誘殺数は、県東部では234頭（平年508.7頭）とやや少なかった。
- ③ 向こう1か月の気象は、本種の発生に助長的である。

【参考となる事項】

※最新の農薬登録状況

農林水産省ホームページに、農薬登録情報提供システムが掲載されています。

農林水産省農薬登録情報提供システムのアドレスは <https://pesticide.maff.go.jp/>

島根県病虫害防除所

（島根県農業技術センター 資源環境研究部 病虫科）

〒693-0035 出雲市芦渡町 2440

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページアドレス

https://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/gijutsu/nougyo_tech/byougaityuu/

e-mail boujyo@pref.shimane.lg.jp